

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.2

Name:	トムちゃん	Age:	11歳	■投与開始時の BUN/CRE	91.2 / 4.4
■薬剤名	エスポー		■投与時猫体重	1.8kg	

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量）	PCV／HCT の変化
2005.05.21～2005.6.03（週 2 回／180 単位）	22.0%→33.0%
■抗体について：	
わからない	
■他の貧血対策：	
ペットクリニック	

■飼い主さんの感想

慢性腎不全と診断され、そのまま静脈点滴で入院し、退院時に PCV が下がっていたので、主治医の薦めのままに投与したが、実際のところは腎性貧血で下がっていたのか？という疑問は残っています。

腎性貧血だったとしたならば早めに打ったことで腎臓の血流がよくなり、現在まで維持できていると思えるが、静脈点滴によって薄まっただけの貧血ならばエリスロポエチンの投与云々の問題ではないようにも思えるので、よくわかりません。

《じいや補足》

飼い主さんは感想で腎性貧血であったかどうか、今となってはわからないと書いてくれましたが、トムちゃんの発覚時の数値や体重が 1.8 キロまで減少したことを考えると

腎性貧血があったとしても不思議ではないのかもしれない。

輸液でなくお水を沢山飲んでもらうように呼びかけ、現在は良好な数値が保てていることから急性の腎不全も疑ったそうですが、主治医は慢性であると判断したそうです。